

(様式14)

避 雷 装 置 点 検 表

検 査 項 目		検 査 内 容	補 正 ・ 補 修 事 項	判 定
突針又は架空線		被保護建物は突針の先端（架空線の上端）から45度の範囲内にあるか。		適・否
		被保護建物の上端から突針の先端まで2.5m（架空線の上端まで3m）以上あるか。		適・否
		突針は垂直に、架空線は水平になっているか。		適・否
		突針（架空線）は避雷導線によって接地電極に接続してあるか。		適・否
避 雷 導 線		被保護建物の上端以下は2条以上になり、引き離して設けてあるか。		適・否
		直線的（わん曲部の半径は20cm以上）に、かつ建物の最外側に沿って設けてあるか。		適・否
		電燈線雨どい、その他の金属製の物から1m以上離れているか。		適・否
避 雷 針 又 は 架 空 地 線		独立して設けた場合は、建物から2.5m以上離れているか。		適・否
		雷撃、風圧等により損傷が生じないように堅固に設置してあるか。		適・否
		支線は支持点において避雷導線に接続してあるか。		適・否
接 地 電 極		避雷導線ごとに1個以上あるか。		適・否
		周囲1m未満にガス管は埋設されてないか。		適・否
		接地抵抗は検査証明書のとおり。		適・否
構 造	突 針	銅棒、直径12mm以上（ ・ mm）		適・否
	架 空 線	銅線、断面積30mm ² 以上（ ・ mm ² ）		適・否
	避 雷 導 線	銅線、断面積30mm ² 以上（ ・ mm ² ）		適・否
	接 地 電 極	銅板（ ）		適・否
備 考				